



- ◎大会名称 天皇陛下御即位記念 第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会
- ◎主催 豊かな海づくり大会推進委員会
第39回全国豊かな海づくり大会秋田県実行委員会
- ◎後援 農林水産省、環境省
- ◎開催日 令和元年9月7日(土)・8日(日)
- ◎開催地 秋田県秋田市
- ◎会場 式典行事…………… 秋田県立武道館
海上歓迎・放流行事…………… 秋田港飯島地区
歓迎レセプション…………… 秋田キャッスルホテル
関連行事…………… 道の駅あきた港
サテライト会場…………… 【秋田市会場】
JR秋田駅前周辺、秋田拠点センターアルヴェ
【男鹿市会場】
JR男鹿駅及び道の駅おが
【八峰町会場】
秋田県漁業協同組合北部総括支所・八森観光市
【にかほ市会場】
にかほ市観光拠点センター「にかほっと」
- ◎参加者数 約5万4千人
- ◎大会テーマ 「海づくり つながる未来 豊かな地域」
- ◎大会キャラクター 秋田県PRキャラクター「んだッチ」





□ 開催の意義

(1) 秋田の水産業振興と漁村地域の活性化

東北地方の北西部に位置する秋田県は、日本海に面した雄大な自然に恵まれています。中でも、世界自然遺産の白神山地や秀麗な鳥海山、美しい景色が続く男鹿半島は、国内でも人気の観光スポットです。また、海岸部の約7割を砂浜海岸が占めており、日本海に注ぐ米代川や雄物川、子吉川の三大河川沿いには、米どころ秋田を支える肥沃な平野が開けています。

本県沖は、対馬海流(暖流)とリマン海流(寒流)が流れ込むことから、多種多様な魚介類が生息しています。底びき網や定置網、さし網などによって水揚げされる魚介類は150種類以上で、中でもハタハタや北限の産卵場を有するトラフグ・マダイ、鳥海山の伏流水で育つイワガキなどは、本県を代表する水産物といえます。

近年の漁業環境の変化など水産業を取り巻く様々な課題を克服するため、本県では、漁業者と自治体などが一体となって「つくり育てる漁業」を重点的に推進し、県産水産物の高付加価値化やブランド化に向けた多彩な取組も積極的に行っています。

秋田県民歌で「山水皆これ、詩の国」と謳われている秋田の地において、全国豊かな海づくり大会を開催することは、多様な自然環境と魚介類に恵まれた本県の水産業を、全国の皆様に広く知っていただく絶好の機会となります。これを機に、秋田の魅力に磨きをかけ、全国から訪れる方々との交流を通じて、水産業の振興と漁村の活性化につなげていきます。

(2) 豊かな海を育む森と河川・湖沼の保全と未来への継承

東部の県境には奥羽山脈が縦走り、八幡平や駒ヶ岳、栗駒山などの豊かな森は、清冽な河川の源となって多様な生き物を育み、母なる日本海へとつながっています。サケやサクラマス、アユ、イワナなど、「命の水系」の恵みをいただく内水面の漁業者は、平成15年3月に制定された「秋田県ふるさとの森と川と海の保全及び創造に関する条例(愛称:水と緑の条例)」の趣旨に沿いながら、水源から海に至る生態系や水環境の保全・管理を通じて、持続的に資源を活用しています。

また、本県には、十和田湖と田沢湖、八郎湖の三つの湖があり、これら三湖を舞台とした壮大なスケールの「秋田龍神伝説」は今なお脈々と語り継がれ、秋田の創世を物語る民話となっています。その十和田湖ではヒメマス、八郎湖ではワカサギが主な漁獲対象種であり、田沢湖では戦前、固有種である「奇跡の魚・クニマス」も獲られていました。

今回の全国豊かな海づくり大会では、森から河川・湖沼を経て海へと至る自然環境の保全と、そこに育まれる生命の大切さについて、県内外に力強くアピールしていきます。

(3) 秋田の海にまつわる歴史・食文化の魅力の発信

本県沿岸の多様な魚介類は、県民の食生活に恵みと潤いを与え、独特の食文化を育んできました。特に、秋田県民にとって特別な存在である県の魚ハタハタについては、資源量の激減を受け、平成4年9月から3年間、自主的な全面禁漁に取り組み、その後、恒常的な資源管理を続けています。長らく本県の漁業経営を支えてきたハタハタは、しょっつる(魚醤)や飯ずしなどの伝統食の素材としても、本県の食文化を牽引してきました。

また、北前船の舟運が発達した江戸時代には、米や酒をはじめ、魚肥や秋田杉、銀・銅などの特産物を上方に運び、経済と文化が行き交う交易圏を形成するなど、本県独自の歴史と文化を創り出してきました。

今回の全国豊かな海づくり大会では、長年にわたって培ってきた、こうした本県の食の魅力や歴史・文化を全国に向けて発信していきます。



鳥海山



「県の魚」ハタハタ

□ 基本理念

秋田県の特徴ある水産資源や農山漁村の環境・歴史・文化などを全国に広く発信するとともに、水産業の振興や観光産業等との連携により、地域の活性化を図ります。

□ 基本方針

(1) つくり育てる漁業を中心とした水産業の振興と地域の活性化

漁業者の所得向上や漁村の活性化など、本県水産業の現状と課題をしっかりと見据え、平成30年度にリニューアルした秋田県水産振興センター栽培漁業施設を核としながら、「つくり育てる漁業」を進化・発展させるとともに、「漁業後継者の育成・確保」や「水産加工品の開発・販売」などに重点的に取り組み、本県水産業の振興と地域の活性化につなげる大会とします。

(2) 豊かな自然環境の保全・利活用

海や河川・湖沼がもたらす豊かな恵みに深く感謝し、守り育てる意識を育むとともに、将来にわたって自然環境と共生し、地域資源の効果的な活用を目指す大会とします。

(3) 秋田の魅力の発信

観光産業との連携により、本県の歴史に根付いた魚食・漁村文化や豊かで美しい自然環境などの魅力を発信し、未来へと継承する大会とします。

(4) 秋田のまごころあふれる大会のアピール

県民総参加のもと、豊かな自然や多彩な伝統文化、食文化を誇る秋田において、全国から訪れる方々を秋田らしい、まごころで迎えるおもてなしの大会とします。



リニューアルした秋田県水産振興センター



アワビの稚貝



□ 会場配置図



海上歓迎・放流行事会場
秋田港飯島地区



サテライト会場
秋田県漁業協同組合北部総括支所・八森観光市

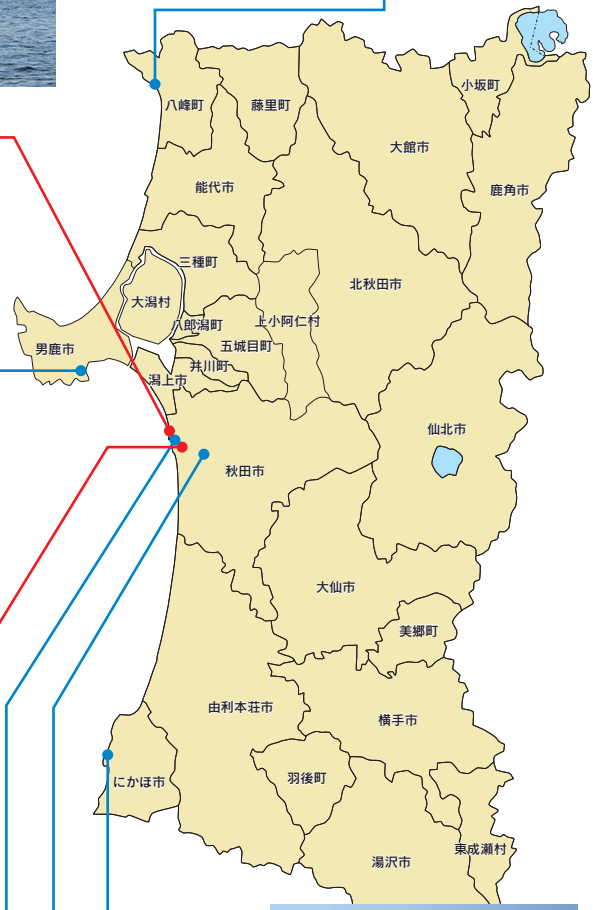


サテライト会場
JR男鹿駅及び道の駅おが

式典行事会場
秋田県立武道館



関連行事会場
道の駅あきた港



サテライト会場
にかほ市観光拠点センター「にかほっと」

サテライト会場
JR秋田駅前周辺・秋田拠点センターアルヴェ



□ 大会参加者

行事名	会場	人数	内訳
歓迎レセプション(7日)	秋田キャッスルホテル	201人	県内101人、県外100人
式典行事(8日)	秋田県立武道館	771人	県内216人、県外555人
海上歓迎・放流行事(8日)	秋田港飯島地区	364人	県内209人、県外155人
関連行事(7日・8日)	道の駅あきた港、JR秋田駅周辺、JR男鹿駅及び道の駅おが、にかほ市観光拠点センター「にかほっと」前特設会場、秋田県漁業協同組合北部総括支所・八森観光市	52,335人	7日 23,986人 8日 28,349人
合計		53,671人	

□ 出演者

◎式典行事出演者

区分		団体名等	人数	
プロローグ	ナビゲーター	壇蜜	1	
	秋田の高校生・海斗	伊藤綾真	1	
	秋田の高校生・風太	村上雅迪	1	
	秋田の高校生・郁美	三浦莉央	1	
	なまはげ太鼓	秋田県立男鹿海洋高等学校郷土芸能部	19	
	水の精	ダンススタジオS.T.Rays	15	
		ダンススタジオS.T.Rays Jr.	15	
		たなはしあゆこバレエスクール	13	
	海の祭	大正寺おけさ保存会	23	
		秋田和洋女子高等学校郷土文化部	7	
金浦神楽保存会		25		
式典	司会進行	増田卓(NHKアナウンサー)	1	
		高橋紀子(フリーアナウンサー)	1	
	登壇者	大会会長賞受賞者代表	秋田県漁業協同組合	1
		農林水産大臣賞受賞者代表	公益社団法人山口県栽培漁業公社	1
		環境大臣賞受賞者代表	静岡県・北限域(内浦湾)の造礁サンゴ群落保全会	1
		水産庁長官賞受賞者代表	宮城県漁業協同組合志津川支所戸倉青年研究会	1
		秋田県知事賞受賞者代表	秋田市立桜中学校3年 大山瑠菜	1
		最優秀賞作文発表者	八峰町立八森小学校3年 小林桜和	1
	大会旗入場	大会旗入場(先導)	秋田太陽幼稚園・ベビー園	19
		大会旗入場(旗手)	秋田県立男鹿海洋高等学校	9
	稚魚等のお手渡し	介添え	秋田県立秋田北高等学校	4
		お手拭き	秋田県立秋田北高等学校	2
		お受け者	秋田県漁業協同組合 北浦総括支所北浦地区代表 西方強	1
			秋田県内水面漁業協同組合連合会 代表理事長 湊屋啓二	1
			秋田県漁業協同組合 象潟根付委員会代表 齊藤一成	1
	海づくりメッセージ	秋田県漁業協同組合 双六コンブ養殖会代表 三浦幹夫	1	
		若手漁業者(県南部)	秋田県漁業協同組合員 佐藤栄治郎・未来 夫妻	2
		若手漁業者(県中央部)	秋田県漁業協同組合員 伊藤徳洋・歩 夫妻	2
		若手漁業者(県北部)	秋田県漁業協同組合員 小林優大・雅子 夫妻	2
	ベテラン漁業者	秋田県漁業協同組合理事 杉本貢	1	
エピローグ	郷土芸能	港ばやし保存会	6	
		秋田県民謡協会	7	
		高橋キヌ子社中	12	
	フィナーレ	渡部絢也(シンガーソングライター)	1	
全体	音楽演奏	秋田県立秋田南高等学校吹奏楽部	73	
	手話通訳者	秋田県手話通訳員	4	
	要約筆記者	秋田県聴覚障害者支援センター	4	
	式典補助員	秋田県立秋田北高等学校	10	
合計			291	



◎海上歓迎・放流行事出演者

区 分		団体名等	人数
海上歓迎・放流行事	司会進行	松田利仁垂(NHKアナウンサー)	1
		坂本愛(フリーアナウンサー)	1
	漁法紹介 (海上パレード)	第百十八兼丸、第三天龍丸、新洋丸、第2文丸	23
		秋田県立男鹿海洋高等学校実習船(NAMAHAGE)	13
		官公庁船(くぼた・千秋丸)	15
音楽演奏	ノースアジア大学明桜高等学校吹奏楽部	81	
介添え・お手拭き	秋田県立男鹿海洋高等学校	29	
合 計			163

◎関連行事出演者

区 分		団体名等	人数
9月7日(土)	司会進行	真坂はづき	1
	オープニング演奏	秋田県立秋田中央高等学校吹奏楽部	73
	秋田の海を知ろう!地魚クイズ	全国豊かな海づくり大会・あきた大会広報キャラバン隊	2
	書道パフォーマンス	秋田県立能代松陽高等学校書道部	11
	超神ネイガーショー	超神ネイガー	6
	地魚料理ショー	野口かおり	1
	後催県PRキャラバン	第40回全国豊かな海づくり大会宮城県実行委員会	3
	一輪車パフォーマンス	白百合保育園一輪車クラブ	9
	伝統芸能	土崎港ばやし保存港和会	8
	民謡披露	梅若流梅若会	5
9月8日(日)	司会進行	真坂はづき	1
	オープニング演奏	やまばと太鼓	16
	秋田の海を知ろう!地魚クイズ	全国豊かな海づくり大会・あきた大会広報キャラバン隊	2
	なまはげ太鼓	NAMAHAGE郷神楽	4
	伝統芸能	西馬音内盆踊保存会	18
	後催県PRキャラバン	第40回全国豊かな海づくり大会宮城県実行委員会	3
	ギョギョッとびっくりお魚教室!	さかなクン	1
	郷土芸能	秋田県立由利高等学校民謡部	33
合 計			197

□ スタッフ

区 分	9月7日	9月8日	延 べ
秋田県	870	793	1,663
秋田市	80	80	160
秋田県栽培漁業協会	3	5	8
男鹿水族館	6	6	12
合 計	959	884	1,843

□ おもてなし協力団体

◎式典行事、海上歓迎・放流行事

内 容	団体名等	人数
かまぼこ試食・企画展示	秋田県立男鹿海洋高等学校	29
いぶりがっこ試食	株式会社雄勝野きむらや	-
もろこし試食	有限会社フジタ製菓	1
あめこうじ甘酒試飲	小玉醸造株式会社	2
白神山水試飲	株式会社藤里開発公社 白神山水の館	-
スポーツドリンク提供	大塚製薬株式会社仙台支社秋田出張所	-
ギバサしょつつるポン酢・しょつつるスープ試食	しょつつる研究会・あきたのギバサ研究会	4
企画展示・育英会募金	あきた海洋少年団・(公財)漁船海難遺児育英会	19
企画展示等	秋田県つり連合会、大館曲げわっぱ協同組合 有限会社柴田慶信商店、樹皮工房山の恵 角館工芸協同組合、株式会社丸松銘木店 株式会社渡辺事業所	-
合 計		55